

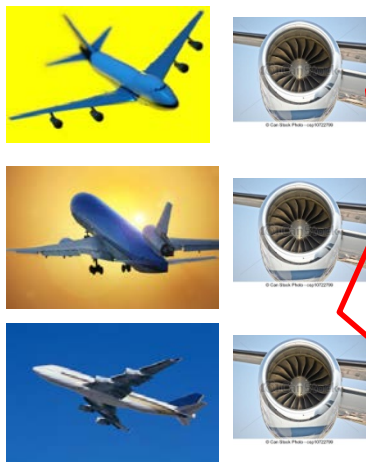
ジェットエンジン管理システム

「特許 5161135」

- 近年のジェットエンジンは、モジュール化され整備の際はモジュールを交換、短時間で容易に整備ができる仕組みになっているが、最終的にはモジュール自体も整備が必要となり製造コストが高いものとなっている。
- 整備コストの低減とタイムリーな整備部品の供給が課題である。
- 特許第5161135では、実際飛行している状態で航空機の整備日付、整備箇所を把握でき分解等行わなくても整備部品の発注など出来、整備時間の短縮、コストの低減が可能となり、また、複数の飛行機のデータを把握でき余分な部品のストックがなくなり整備の効率がよくなる特許です。

* 当社では、本特許の実用化をご検討いただける企業様を募集しております。

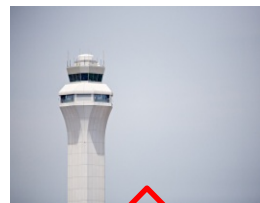
飛行中



複数（飛行機）
の
空燃比
温度
振動
各センサー
データを
送信

特許のポイント

基地局



整備の必要性
整備箇所
整備日程

整備の必要性
箇所 日程
を判断
整備用部品
の
発注

メリット

現状

- 材料調達価格が高い
- 加工コストが高い
- 製造コストが高い
- 整備時間が長くなる

管理システム導入

- 高価な部品のストックが必要なくなる
- 整備コストが低減できる
- 整備効率がよくなる